

高等学校 令和8年度（3 学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教 科： 国語 科 目： 論理国語 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 東京書籍 精選論理国語 ）

教科 国語 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語 の目標： 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
言葉を再考する／混じり合う言葉 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・筆者の体験と考察の關係に着目して読み、言語に対する見方を広げる。 ・漢字名の「名付け」とアイデンティティの模索についての関係を読み取る。 ・教科書、プリント、一人一台端末の活用			○	【知識・技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	◎	◎	○	5
言葉を再考する／言語と記号 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く具体例と筆者の主張の文章構造をつかみ、学習の見通しをもって言語の持つ文化形成力について、自分の考えを深めようとする。	・論の展開を意識して主張を理解し、言語に対する筆者の考え方と自己の考え方を比較する。 ・百～百五十程度で本文の要旨をまとめ、筆者の主張のポイントがきちんと押さえられているか、内容をチェックする。 ・教科書、プリント、一人一台端末の活用			○ ◎	【知識・技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	◎	◎	○	5
近代という時代／環境問題と孤立した個人 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く近代の二元論的自然観と環境問題とのつながりを捉え、学習課題に沿って環境問題に対する視点を広げようとする。	・取り上げられる話題をたどりながら近代の自然観を捉え、環境問題についての考えを深める。 ・筆者の考える環境問題について読み取り、まとめる。 ・教科書、プリント、一人一台端末の活用			○	【知識・技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	◎	◎	○	3
1 学期 定期考査						○	○		1

前期	<p>近代という時代／鏡の中の現代社会</p> <p>【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 進んで筆者の主張と、論拠となる五つの具体例と関連性を理解し、今までの学習を生かして自分の生きる世界とは異なる価値や時間感覚を持つ社会を知ることの意義をつかもうとする。</p>	<p>・さまざまな異世界との比較を通して、自己の生きる世界を相対的に認識することの意義を理解する。</p> <p>・異国の人々と、「近代」の精神と時間に対する感覚の違いを理解する。</p> <p>・教科書、プリント、一人一台端末の活用</p>			<p>【知識・技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にししながら要旨を把握している。</p> <p>○ 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。</p>	◎	◎	○	5
	<p>メディアを問い直す／おじいさんのランプ</p> <p>【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 進んで筆者の主張と、その論拠となる具体例を捉え、学習の見通しをもって自分の日常生活に引き寄せて社会の発展に伴う本の在り方について、自分の考えを明確にして論述す</p>	<p>・話題と主張の関係に着目して読み、時代とともに変わっていく本の在り方について考える。</p> <p>・情報は「どのようなものに乗せて人に届けられるべきか」という観点から、本の今後の在り方について考え、六百字程度にまとめる。</p> <p>・教科書、プリント、一人一台端末の活用</p>		○ ◎	<p>【知識・技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にししながら要旨を把握している。</p> <p>◎ 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。</p>	◎	◎	○	5
	<p>メディアを問い直す／書物の近代</p> <p>【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 積極的に筆者の経験や事例と主張のつながりを捉え、学習課題に沿って情報化社会における書物の在り方について、自分の考えを深めようとしている。</p>	<p>・書物の変遷を題材とした評論を読み、情報化社会における書物の在り方について理解する。</p> <p>・「書物の在り方」について、「おじいさんのランプ」で述べられていた内容と比較し、その相違点について考え、話し合う。</p> <p>・教科書、プリント、一人一台端末の活用</p>		○ ◎	<p>【知識・技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にししながら要旨を把握している。</p> <p>◎ 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。</p>	◎	◎	○	3
	定期考査					○	○		1
	<p>メディアを問い直す／読み書きする身体</p> <p>【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 進んで本の物質的な意義と読書の身体性の関係を具体例から読み取り、今までの学習を生かして書物を通して読書経験について、自分の考えを深める。</p>	<p>・文字の身体性について書かれた評論を読み、筆者の価値観を理解することで新たな視点を持つ。</p> <p>・「書物の在り方」について、「おじいさんのランプ」で述べられていた内容と比較し、その相違点について考え、話し合う。</p> <p>・教科書、プリント、一人一台端末の活用</p>		○ ◎	<p>【知識・技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。</p> <p>◎ 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。</p>	◎	◎	○	5
	<p>他者のいる思考／原始社会像の真実</p> <p>【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p>	<p>・時間的に異なる世界を題材とした評論を読み、社会の変遷を捉える見方を身につける。</p> <p>・本文の内容を百五十字程度で要約する。</p> <p>・教科書、プリント、一人一台端末の活用</p>			<p>【知識・技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉</p>				

2 学 期	「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで原始社会の見方についての筆者の主張を理解し、学習の見通しをもって社会に対する歴史的見方や考え方を深める。			○ ◎	え、論点を明確にししながら要旨を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	◎ ◎ ○	5
	他者のいる思考／ロボットは意志を持つか 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く哲学における複数の立場による自由論について理解し、今までの学習を生かして哲学的観点からロボットが「意志を持つ」ことについて自分の考えを深め、話し合おうとする。	・意志や自由について論じた評論を読み、哲学的な思考の方法を理解する。 ・意志を持つロボットが生まれることについての是非を話し合う。 ・教科書、プリント、一人一台端末の活用		○ ◎	【知識・技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にししながら要旨を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	◎ ◎ ○	3
	定期考査					○ ○	1
	困難な時代に／社会の壊れるとき 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く具体例や引用と筆者の主張の関係を捉えて論理展開を理解し、学習課題に沿って社会の現状と結び付けて、「知性的」であることの必要性を、具体例を挙げながら述べる。	・事例と引用を用いた論の展開を確かめながら主張を捉え、知性の意義について自分の考えを深める。 ・「近代性」という信仰と「摩擦」の維持についての筆者の考えを読み取る。 ・教科書、プリント、一人一台端末の活用		○ ◎	【知識・技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にししながら要旨を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	◎ ◎ ○	5
	困難な時代に／虚実の間に 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に二項対立による論理展開から筆者の主張を理解し、今までの学習を生かして情報技術がもたらした功罪について、身近なSNSなどの問題を踏まえながら、考察を深める。	・論の展開とキーワードに注意して主張を捉え、情報技術がもたらす社会への影響について考えを深める。 ・「虚実皮膜論」の内容を参照しながら、「トゥルースとフェイクの間に生まれて、両者の橋渡し役」や「壁の役割」を果たすフィクションの意味を捉えて、まとめる。 ・教科書、プリント、一人一台端末の活用		○ ◎	【知識・技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にししながら要旨を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	◎ ◎ ○	5

	自己と社会／サッカーにおける「資本主義の精神」 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く「オフサイドのルールがない」という現象から導き出す本質と、ボールゲームのゴールの数と資本主義の投資の反復との類推の関係から、筆者の主張を捉え、学習の見通しをもって主張の論拠を批判的に考察し、自己の社会的視点を深める。	・筆者の述べるサッカーと資本主義の関係について理解し、社会に対する見方を広げる。 ・資本主義の展開と終わりの消耗の関係を考え、サッカー・バスケットボールと資本主義の関係について筆者が述べようとしていることをつかむ。 ・教科書、プリント、一人一台端末の活用				【知識・技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	◎	◎	○	3
	定期考査						○	○		1
	自己と社会／抗争する人間 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで人間の社会的欲望と倫理的努力に対する筆者の主張の主張を捉え、学習課題に沿って他者との関係性の構築について、自分の考えを述べる。	・人間の社会性と倫理観についての筆者の考察を理解し、人間に対する理解を深める。 ・筆者の主張を踏まえ、他者とのような関係を築いていくことが望ましいか、話し合う。 ・教科書、プリント、一人一台端末の活用	○		◎	【知識・技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	◎	◎	○	5
3 学期	研究の解説記事を読む／「ヘビににらまれたカエル」の生き残り戦略 【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に論述の根拠となる実験結果や資料を示す意味や効果を理解し、学習課題に沿って説得力のある論述の方法を捉える。	・研究論文の内容を解説した文章を読み、探求の結果を分かりやすく伝える方法について考える。 ・捕食回避のために静止行動をとる「ヘビににらまれたカエル」が不利にならない理由をまとめる。 ・教科書、プリント、一人一台端末の活用				【知識・技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	◎	◎	○	5
	統計資料をもとに考察する／地方都市を考える 【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで統計資料に基づく反証の方法を理解し、今までの学習を生かして説得力のある根拠の示し方や建設的な反論について、考えを深める。	・統計資料をもとに地方都市の在り方を論じた文章を読み、説得力のある根拠の示し方を理解する。 ・図1～図5までのグラフから読み取れる事柄を整理して、反証する筆者の意見の根拠を読み取る。 ・教科書、プリント、一人一台端末の活用			◎	【知識・技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	◎	◎	○	3
	定期考査						○	○		1 合計 70